

第12回 【保健】 現代社会と健康

薬物乱用と健康

今回の学習内容

コカイン、MDMA などの麻薬、覚せい剤など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対してさまざまな影響を及ぼす。また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要である。その際、薬物乱用の開始の背景には、自分の体を大切にす気持ちや社会の規範を守る意識の低下、周囲の人々からの誘い、断りにくい人間関係、薬物を手に入れやすい環境などがあり、関係を持たないためにどうすべきかを学ぶ。



講師
中松 滋
(学習メモ執筆)

壇 蜜 先生

※昨年度と同じ内容です。

薬物乱用とは何か？

「薬物乱用」とは……

違法な薬物を使用したり、医薬品を治療などの本来の目的からはずれて使用したりすることです。また、「乱用」とは、社会常識、法律や条例などから逸脱した目的や方法で薬物を自ら使用することです。1回のみでの使用でも「乱用」にあたります。

「禁止薬物」 ➡ 依存性が強い

「薬物依存」

- 精神依存……薬物は一時的に快感をもたらしますが、その効果が切れると、不安、疲労感、イライラなどの不快な症状があらわれ、再び薬物を使いたいといった衝動におそわれます。
- 身体依存……睡眠薬や精神安定剤など向精神薬やヘロインなどの薬物では、汗をかいたり、震えなどの激しい身体的苦痛があらわれ、その薬物がやめられなくなるなどさまざまな退薬症状に苦しみます。

薬物乱用者の体験談

番組では、20代男性の薬物体験談を通して、その恐ろしさを考えます。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

薬物乱用の防止とその対策

対策

- 薬物売る側を厳しく取り締まること……供給抑制
- 薬物を買おうとする人を減らす……需要抑制

法律による対策

- 大麻取締法 • 毒物及び劇物取締法 • 覚せい剤取締法 • あへん法
- 麻薬及び向精神薬取締法 など

さまざまな乱用防止対策

- 学校教育 • 警察 • 麻薬・覚せい剤乱用防止センターなどの活動



これらの対策をとおして、薬物が持つ危険性についての正しい知識を普及し、薬物を拒否する価値観や、社会のルールを守る意識を高めるなど、さまざまな活動が行われています。

